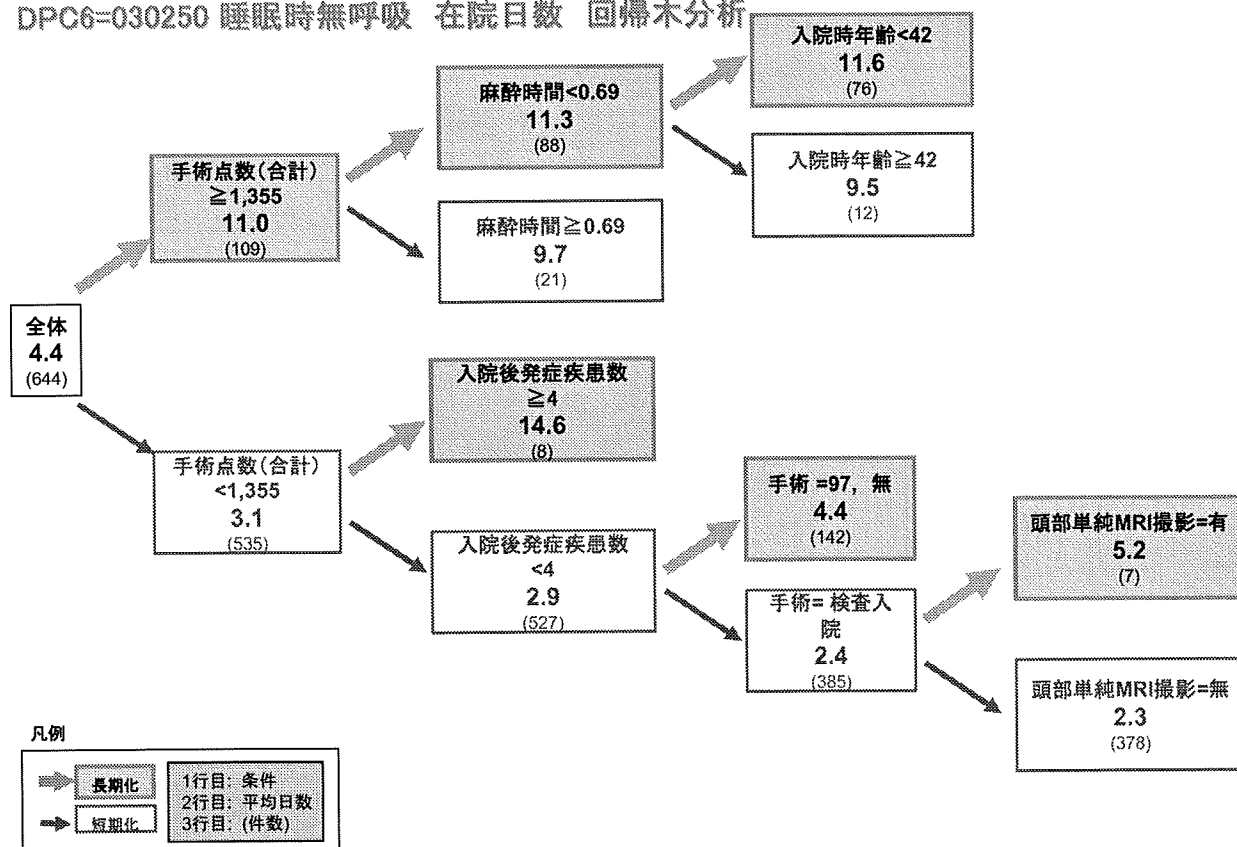


DPC6=030250 睡眠時無呼吸 在院日数 回帰木分析



DPC6=030250 睡眠時無呼吸 在院日数 回帰木分析

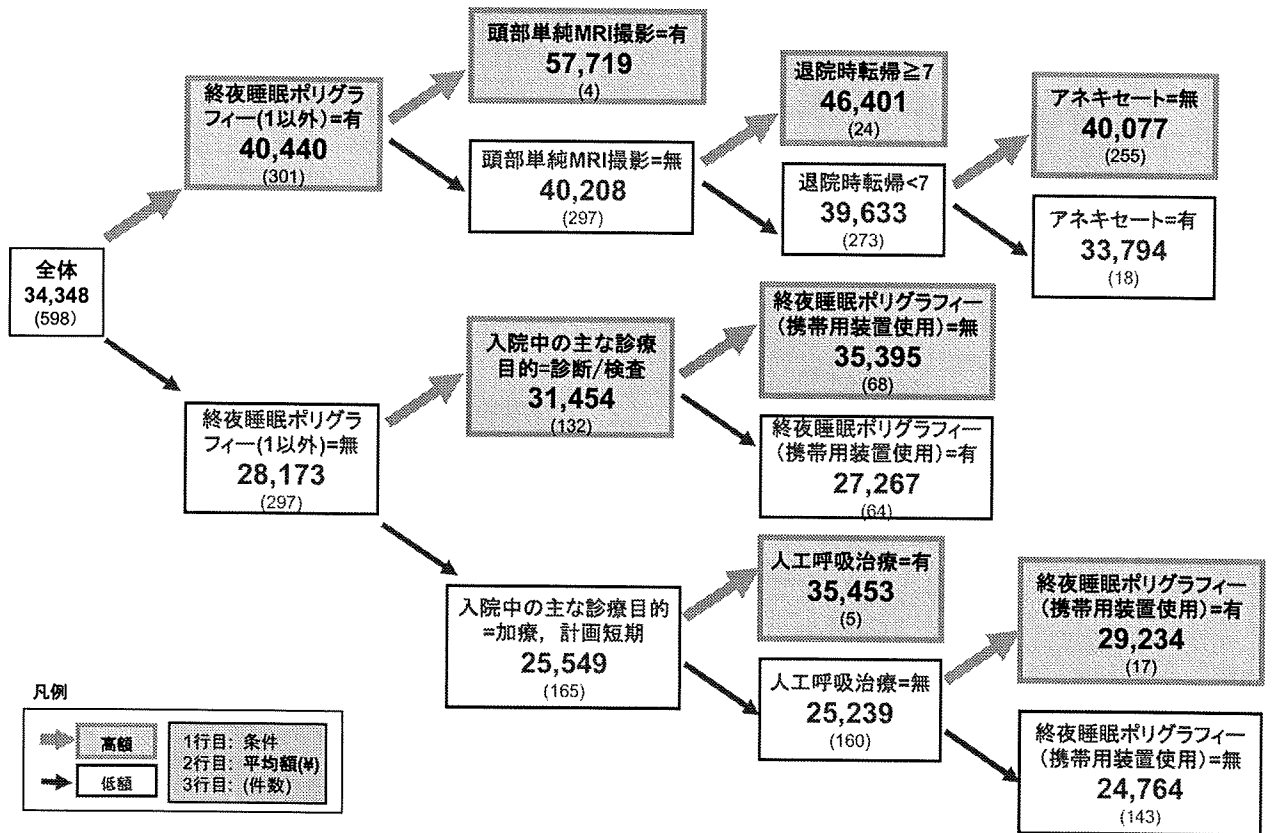
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術点数(合計) ≥ 1,355
- 麻酔時間 < 0.69
- 入院後発症疾患数 ≥ 4
- 入院時年齢 < 42
- 手術=97, 無
- 頭部単純MRI撮影=有

(*)手術
 01:口唇裂形成手術
 02:口蓋扁桃手術
 96:上顎骨形成術
 下顎骨形成術
 97:その他手術

DPC6=030250 睡眠時無呼吸 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=030250 睡眠時無呼吸 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

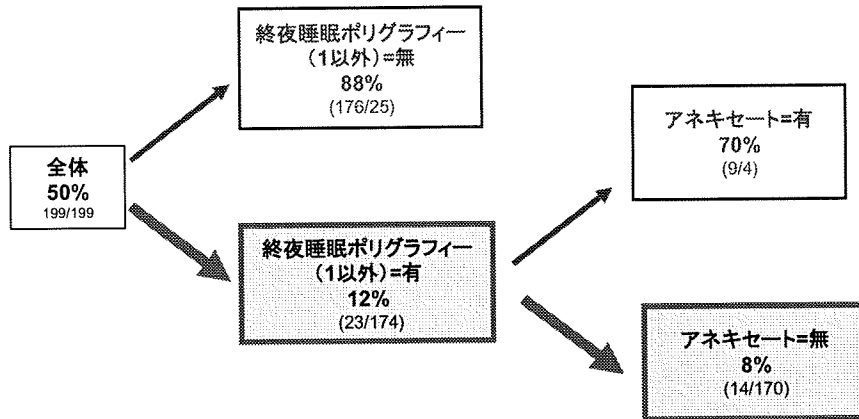
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 終夜睡眠ポリグラフィー(1以外)=有
- 頭部単純MRI撮影=有
- 入院中の主な診療目的=診断/検査
- 退院時転帰<7
- 終夜睡眠ポリグラフィー(携帯用装置使用)=無
- 人工呼吸治療=有
- アネキセート=無

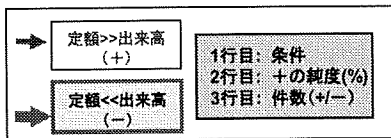
(*) 退院時転帰

- 1 : 治癒
- 2 : 軽快
- 3 : 寛解
- 4 : 不変
- 5 : 増悪
- 6 : 死亡
- 7 : その他死亡
- 9 : その他

DPC6=030250 睡眠時無呼吸 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=030250 睡眠時無呼吸 定額 vs 出来高

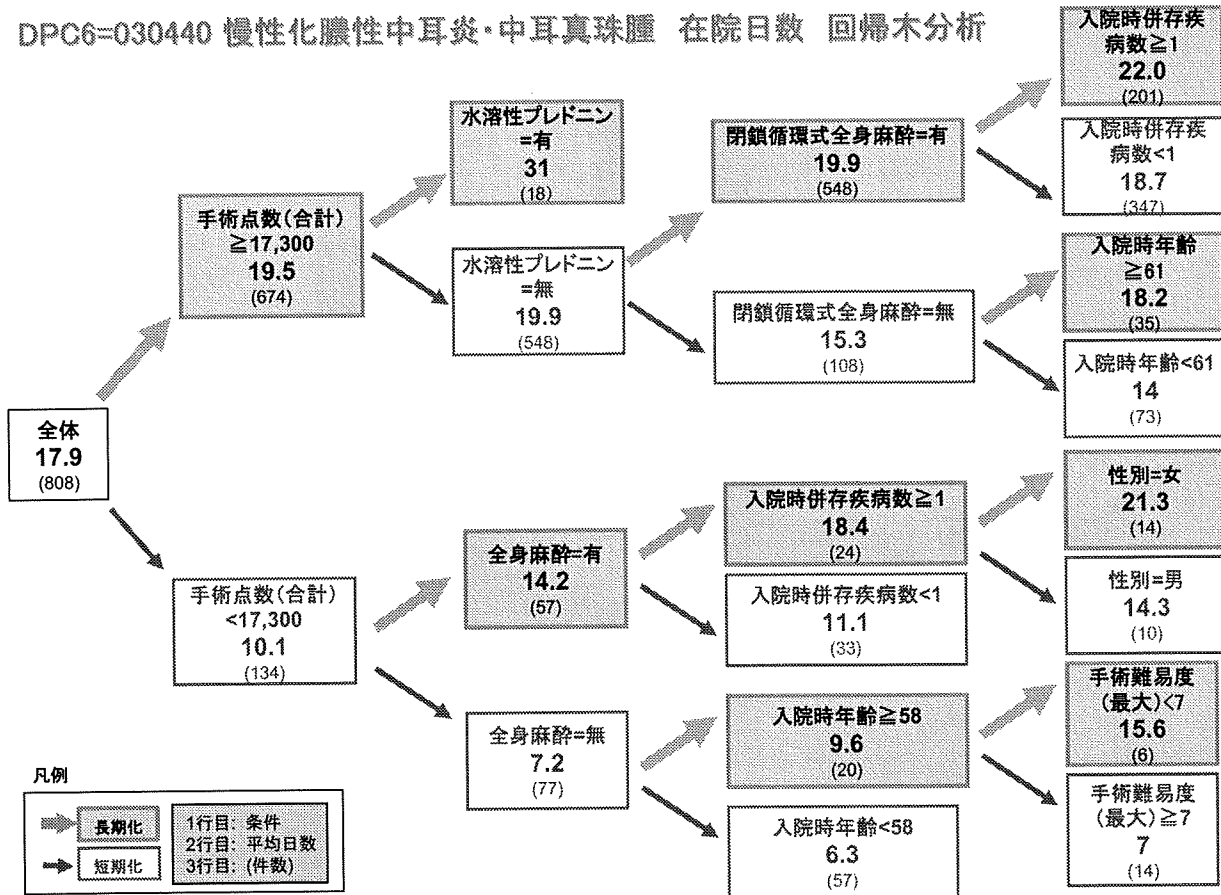
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 終夜睡眠ポリグラフィー(1以外)=有
- アネキセート=無

DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫

DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 在院日数 回帰木分析



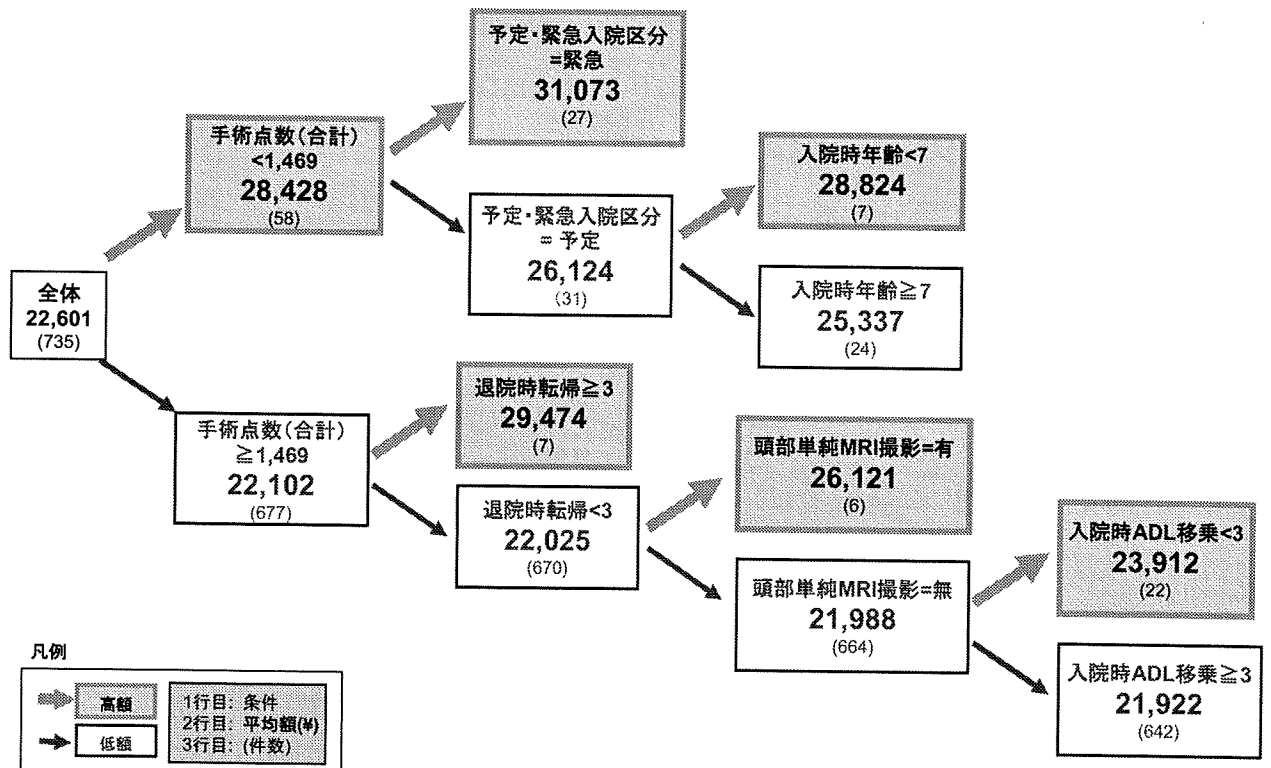
DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術点数(合計) ≥17,300
- 水溶性プレドニン=有
- 全身麻酔=有
- 閉鎖循環全身麻酔=有
- 入院時併存疾病数 ≥1
- 入院時年齢 ≥58
- 性別=女
- 手術難易度(最大) <7

DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の変化要因

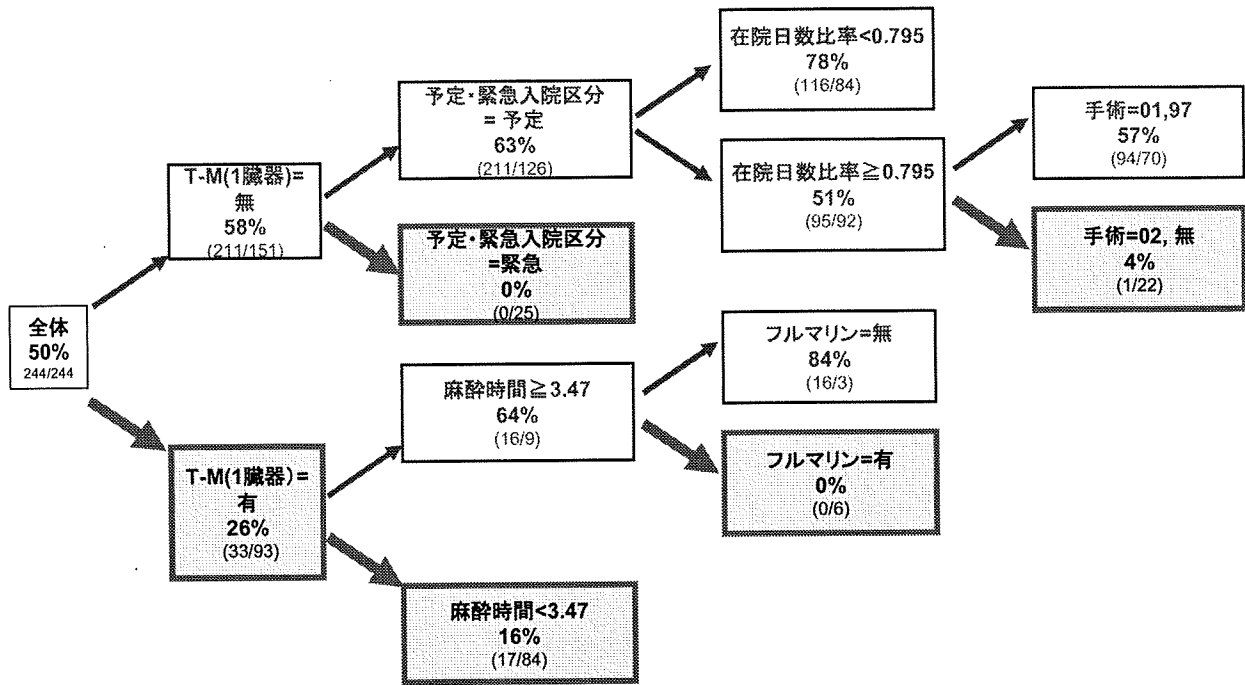
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 手術点数(合計)<1,469
- 予定・緊急入院区分=緊急
- 退院時転帰≥3
- 入院時年齢<7
- 頭部単純MRI撮影=有
- 入院時ADL移乗<3

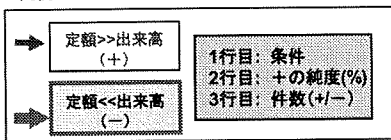
(*) ADL移乗
 0: 全介助
 1: 一部介助
 2: 自立
 9: 不明

(*) 退院時転帰
 1: 治癒
 2: 軽快
 3: 寛解
 4: 不変
 5: 増悪
 6: 死亡
 7: その他死亡
 9: その他

DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=030440 慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

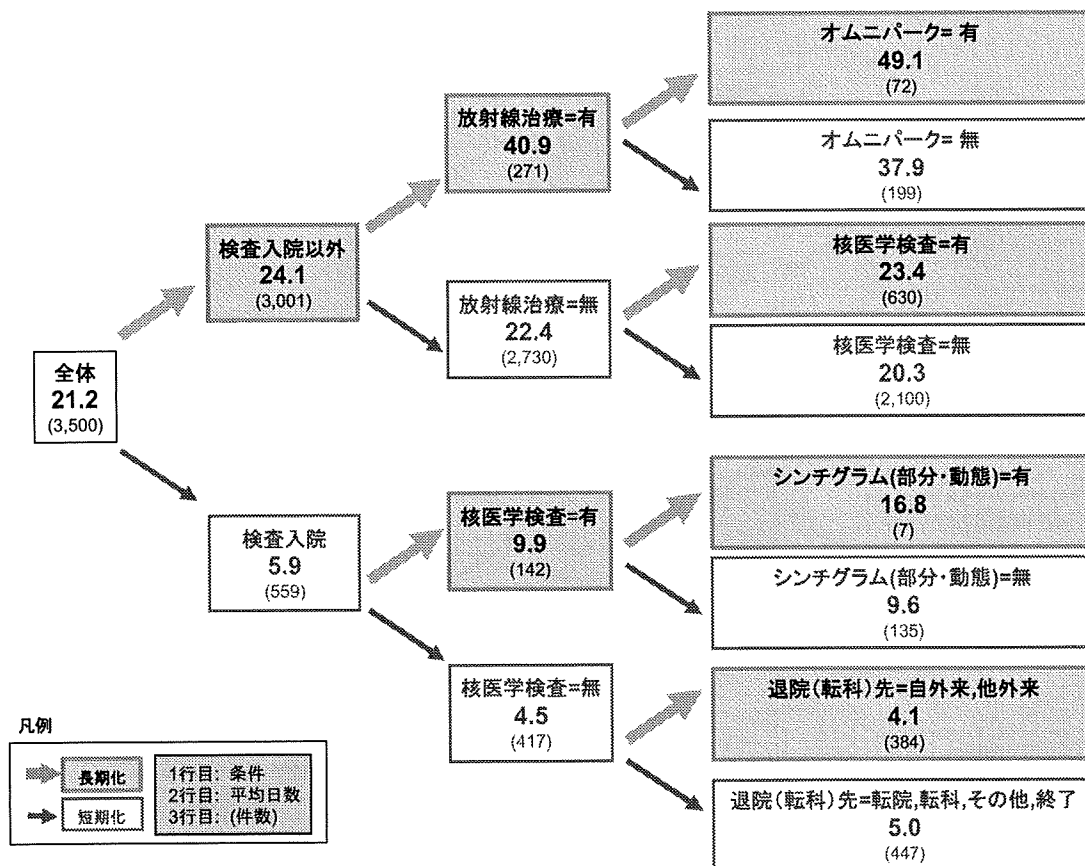
以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- T-M(1臓器)=有
- 予定・緊急入院区分=緊急
- 麻酔時間<3.47
- フルマリン=有
- 手術=02, 無

- (*) 手術
- 01: 鼓室形成手術
 - 02: 鼓膜形成手術
 - 97: 乳突削開術
 - 中耳根本手術
 - 鼓室開放術
 - 上鼓室開放術
 - 上鼓室乳突洞開放術
 - 錐体尖端部手術
 - 鼓膜癒着症手術
 - 乳突充填術
 - 鼓膜穿孔閉鎖術
 - 鼓膜中耳肉芽切除術
 - S状洞血栓(静脈炎)手術
 - アブミ骨手術
 - 顔面神経減圧手術
 - 神経縫合術
 - 神経移植術
 - 乳突洞開放術
 - その他手術

DPC6=040040 肺の悪性腫瘍

DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 在院日数 回帰木分析



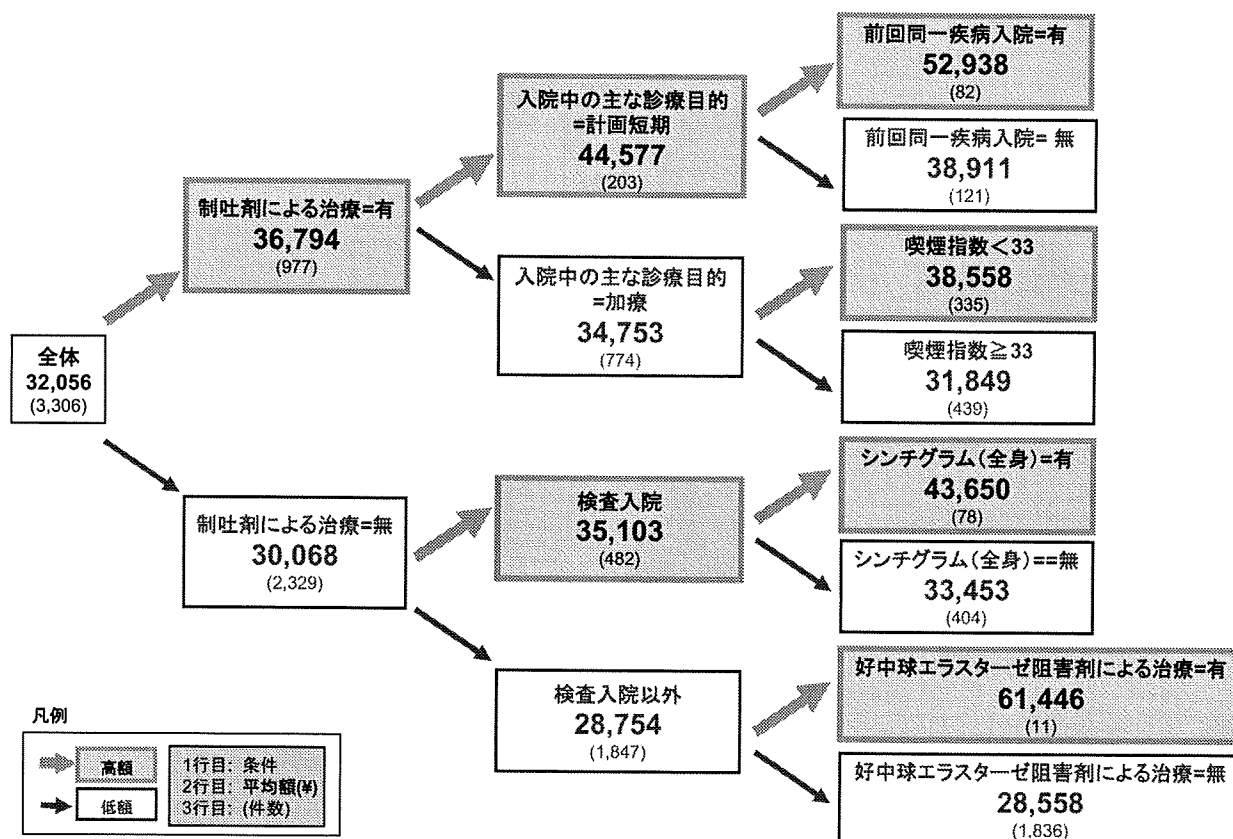
DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 検査入院以外
- 放射線治療=有
- 核医学検査=有
- オムニパーク=有
- シンチグラム(部分・動態)=有
- 退院(転科)先=自外来,他外来

DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 出来高換算額/日 回帰木分析



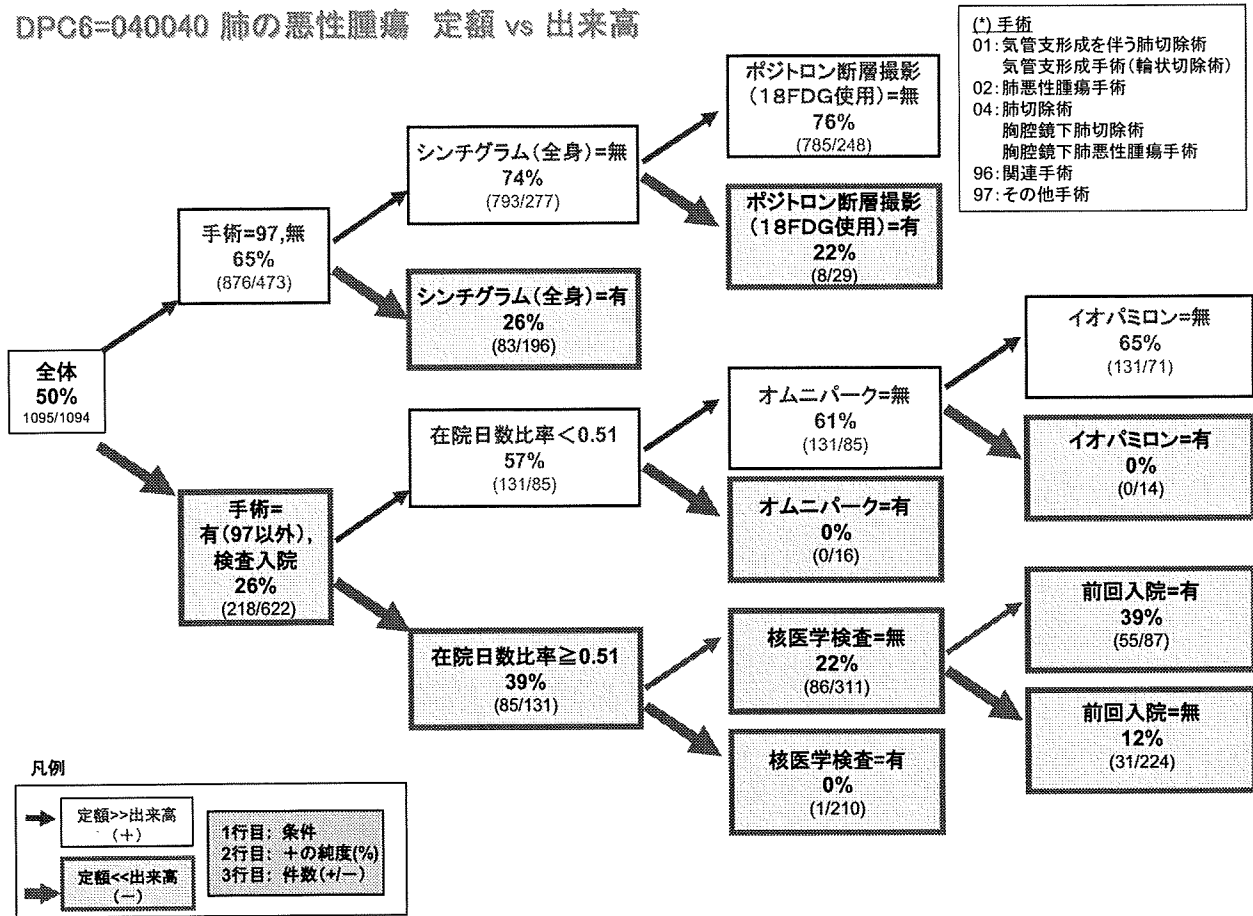
DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 制吐剤による治療=有
- 入院中の主な診療目的=計画短期
- 検査入院
- 前回同一疾病入院=有
- 喫煙指数<33
- シンチグラム(全身)=有
- 好中球エラスターゼ阻害剤による治療=有

DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 定額 vs 出来高



DPC6=040040 肺の悪性腫瘍 定額 vs 出来高

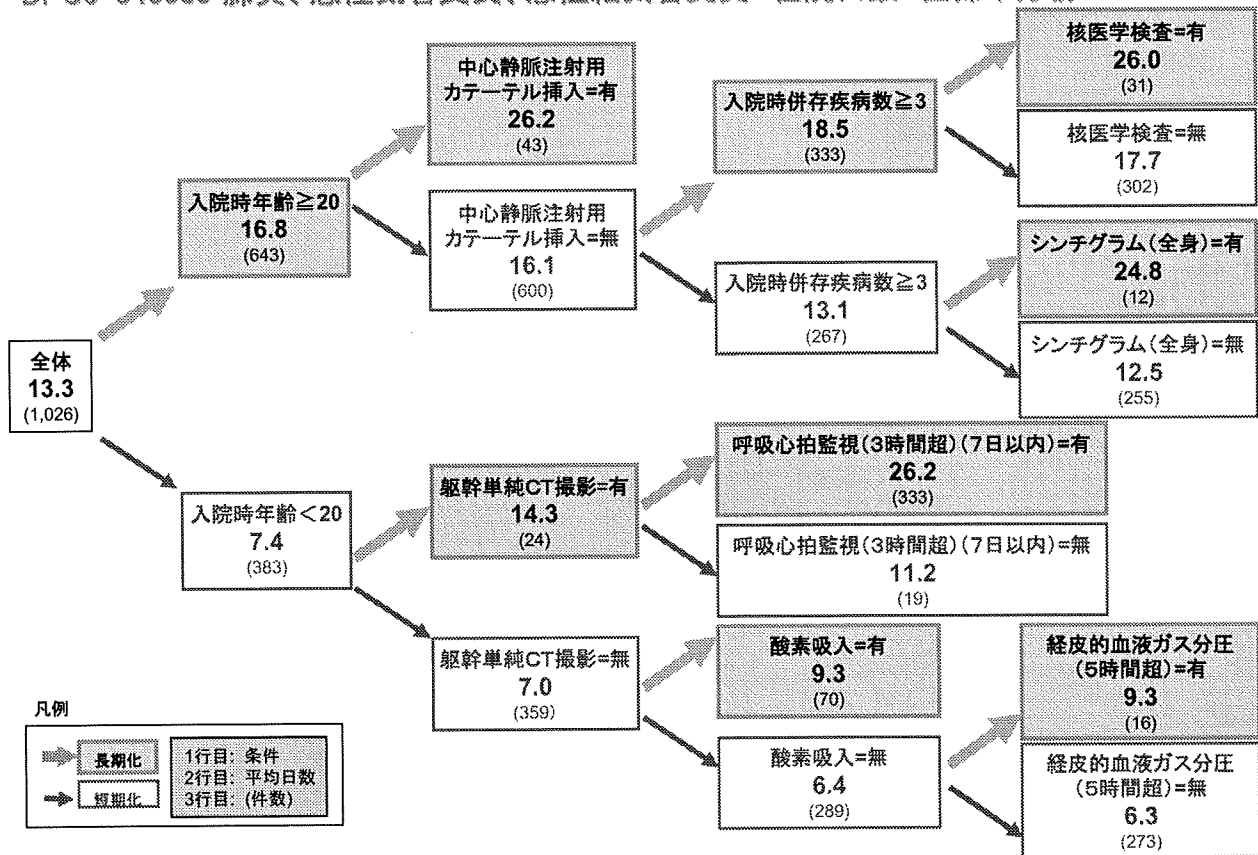
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- 手術=有(97以外),検査入院
- シンチグラム(全身)=有
- ポジトロン断層撮影(18FDG使用)=有
- オムニパーク=有
- 核医学検査=有
- イオパミロン=有

DPC6=040080 肺炎、急性氣管支炎、急性細氣管支炎

DPC6=040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 在院日数 回帰木分析

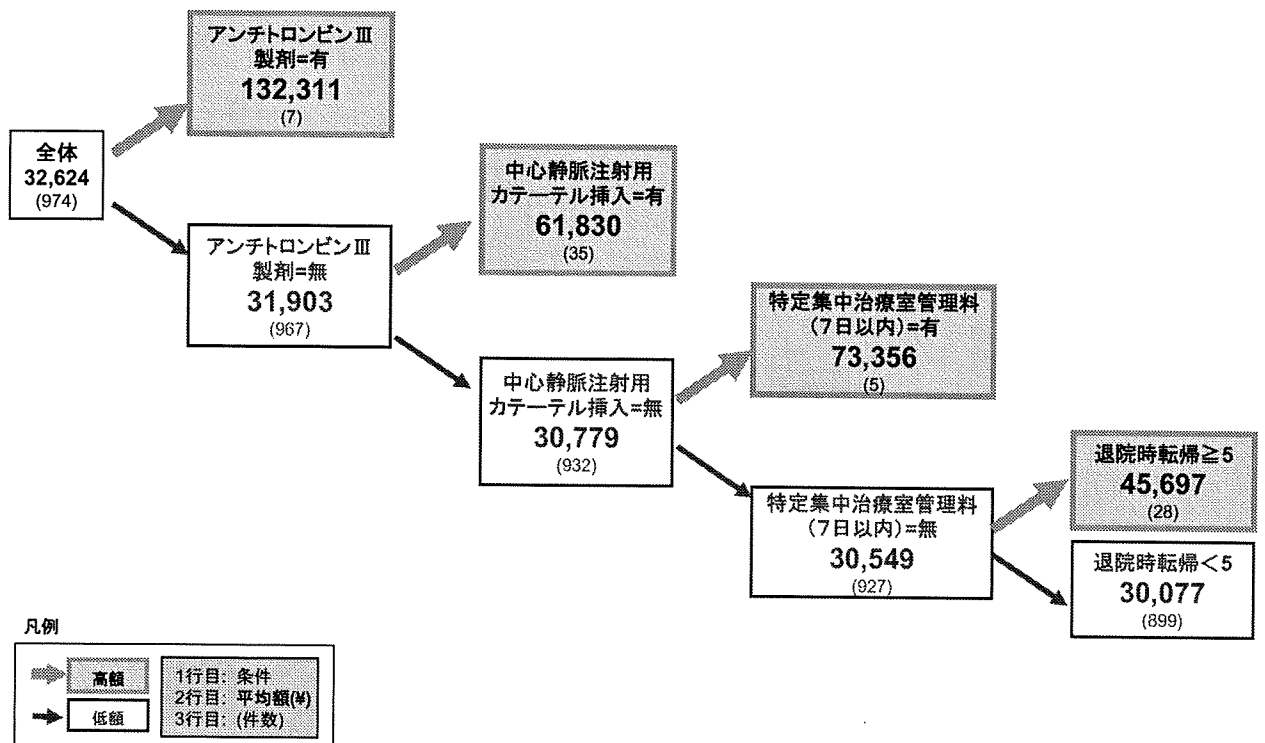


DPC6=040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 入院時年齢 ≥ 20
- 中心静脈注射用カテーテル挿入=有
- 躯幹単純CT撮影=有
- 入院時併存疾病数 ≥ 3
- 呼吸心拍監視(3時間超)(7日以内)=有
- 酸素吸入=有
- 核医学検査=有
- シンチグラム(全身)=有
- 経皮的血液ガス分圧(5時間超)=有



出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

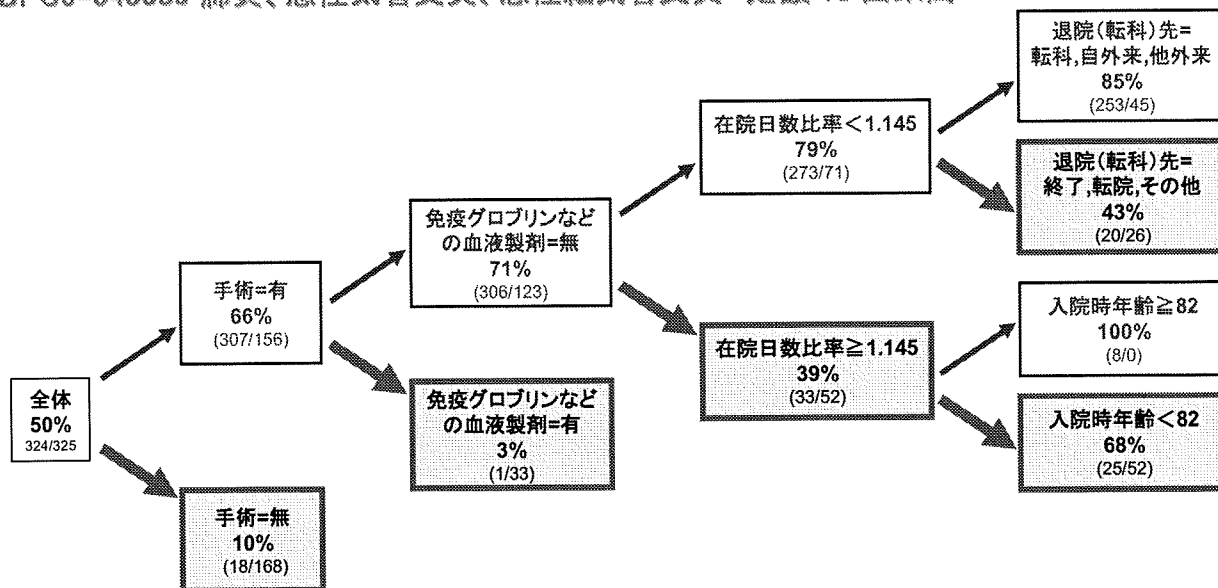
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- アンチトロンビンⅢ製剤=有
- 中心静脈注射用カテーテル挿入=有
- 特定集中治療室管理料(7日以内)=有
- 退院時転帰≥5 (*)

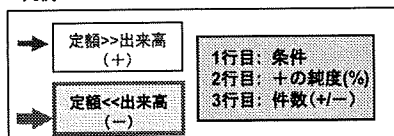
(*)ADL更迭
0: 全介助
1: 一部介助
2: 自立
9: 不明

(*)退院時転帰
1: 治癒
2: 軽快
3: 寛解
4: 不変
5: 増悪
6: 死亡
7: その他死亡
9: その他

DPC6=040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 定額 vs 出来高

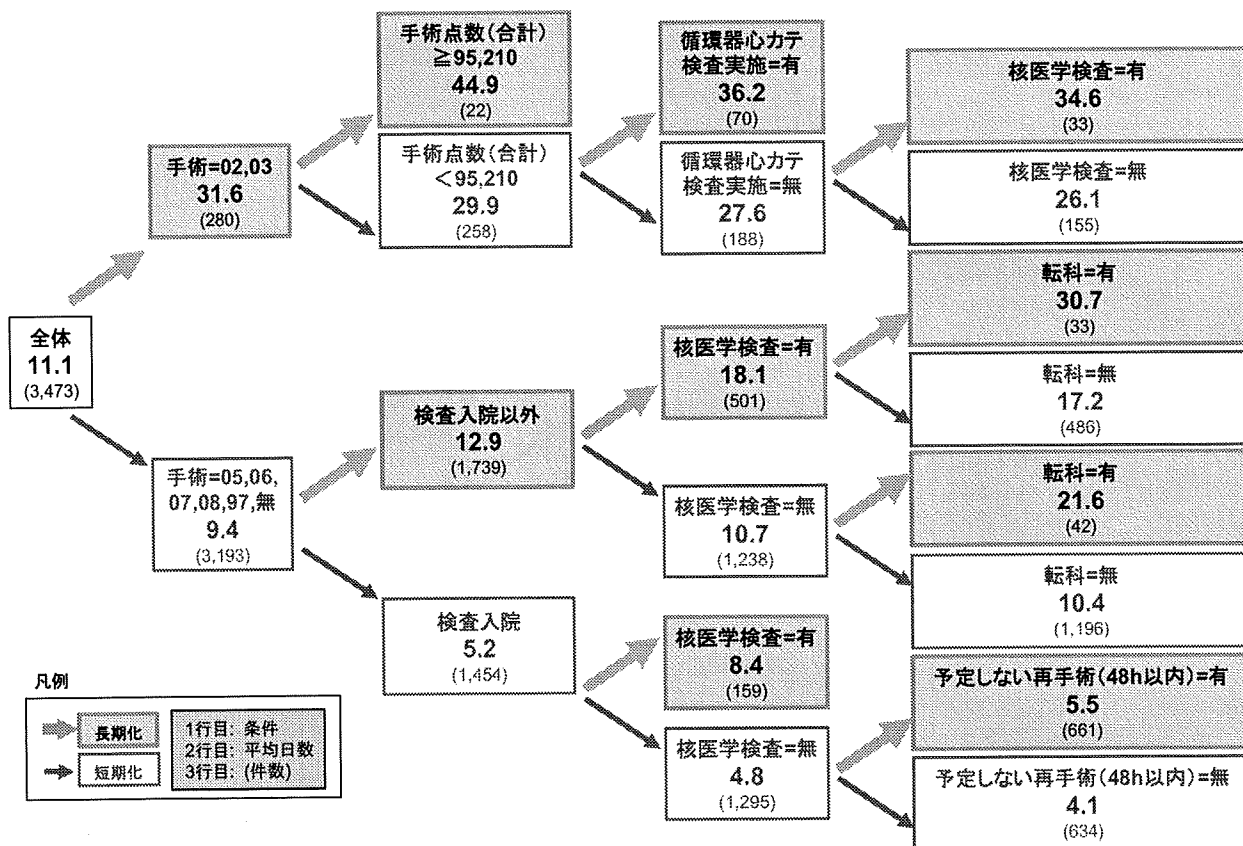
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 手術=無
- 免疫グロブリンなどの血液製剤=有

DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 在院日数 回帰木分析



DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 在院日数 回帰木分析

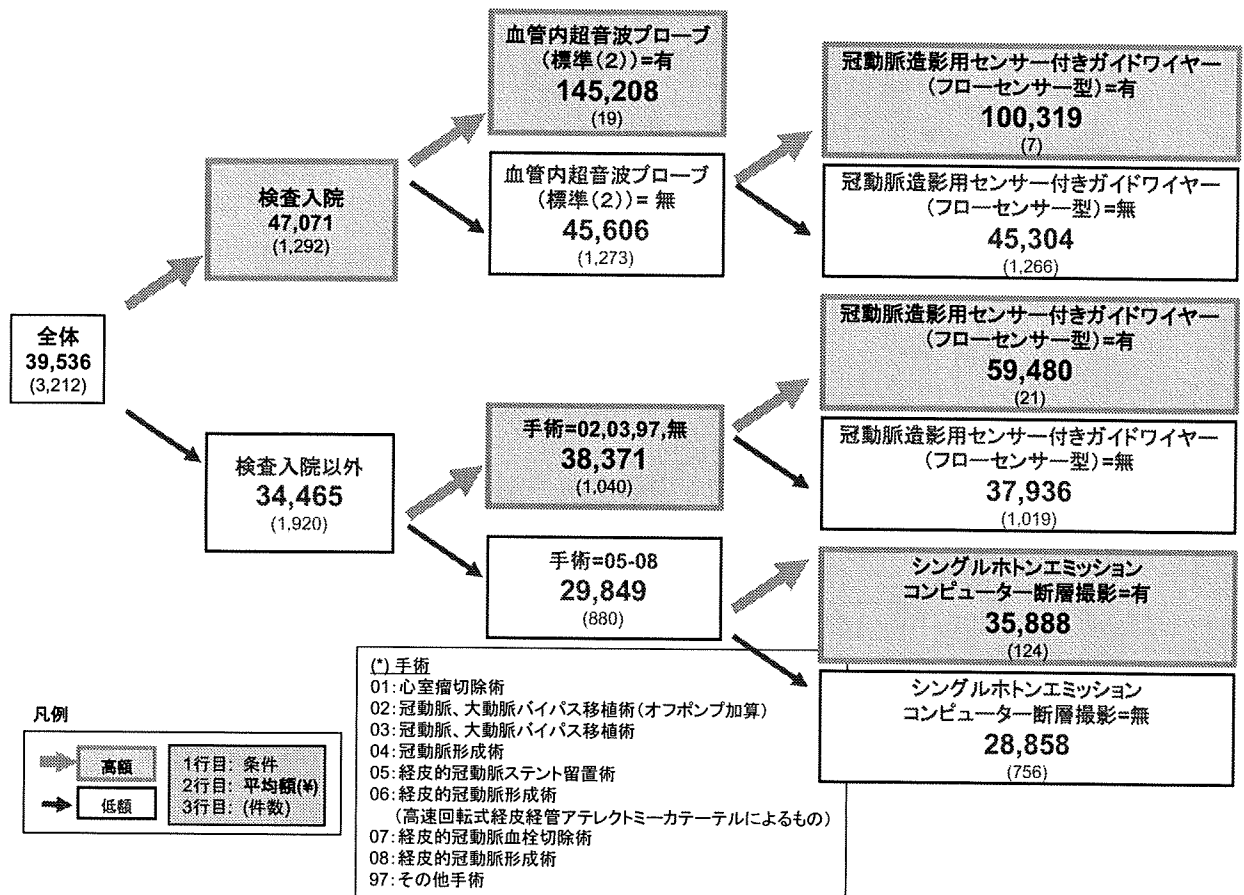
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術=02,03
- 手術点数(合計) ≥95,210
- 循環器心カテ検査実施=有
- 核医学検査=有
- 転科=有
- 予定しない再手術(48h以内)=有

- (*) 手術
- 01: 心室瘤切除術
 - 02: 冠動脈、大動脈バイパス移植術(オフポンプ加算)
 - 03: 冠動脈、大動脈バイパス移植術
 - 04: 冠動脈形成術
 - 05: 経皮的冠動脈ステント留置術
 - 06: 経皮的冠動脈形成術
(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)
 - 07: 経皮的冠動脈血栓切除術
 - 08: 経皮的冠動脈形成術
 - 97: その他手術

DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 出来高換算額/日 回帰木分析



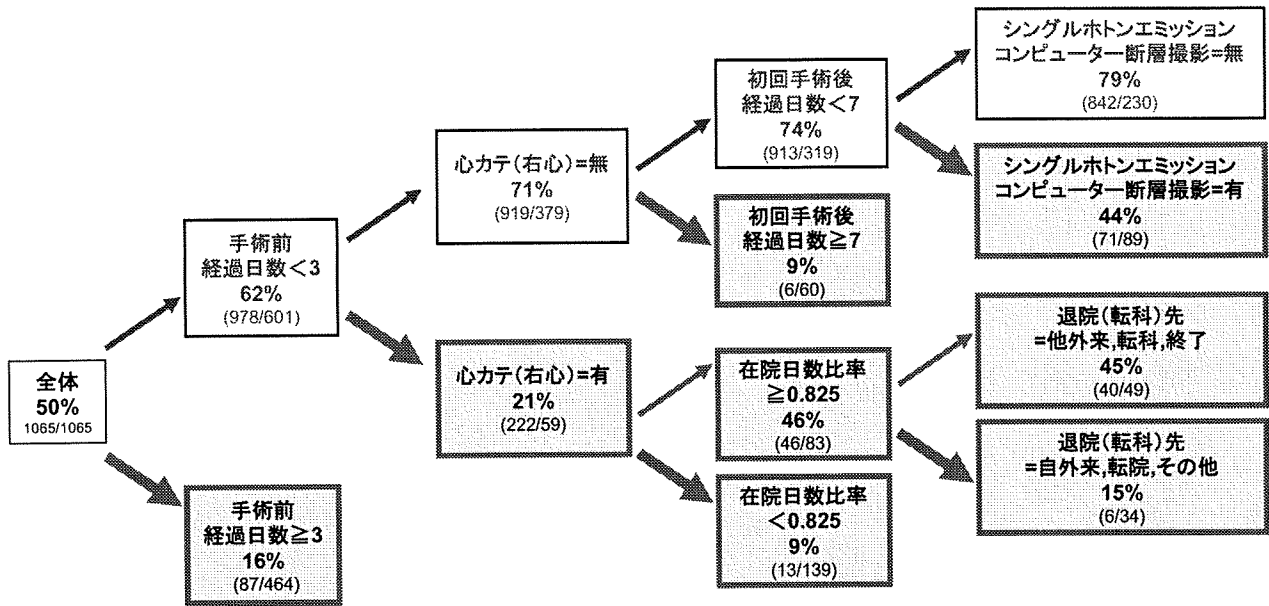
DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

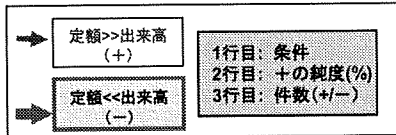
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 検査入院
- 血管内超音波プローブ(標準(2))=有
- 手術=02,03,97,無
- 冠動脈造影用センサー付きガイドワイヤー(フローセンサー型)=有
- シングルホトンエミッションコンピュータ断層撮影=有

DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=050050 狭心症、慢性虚血性心疾患 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 手術前経過日数≥3
- 心カテ(右心)=有
- 初回手術後経過日数≥7
- 在院日数比率<0.825
- 退院(転科)先=自外来,転院,その他

DPC6=050070 類脈性不整脈